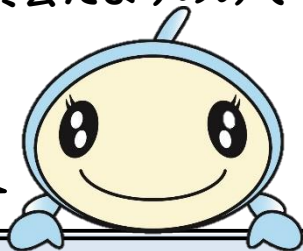


# 回覧

今回は教育委員会だよりのみです。

第11号

令和5年新年号



「3つの合言葉」元気・学び・会話



【発行・編集】  
滑川町教育委員会  
TEL 0493-56-6907

## 町の子供は町で育てる 滑川町教育委員会だより

「学んでよかった町へ -チーム滑川での教育-」



明けましておめでとうございます  
本年もよろしくお願ひ申し上げます



今年卯年です。その中でも「癸卯(みずのとう)」となるそうです。「癸」は「春の間近でつぼみが花開く直前である」という意味があり、「卯」は「春の訪れを感じる」という意味を持つそうです。この2つが組み合わさると、「これまでの努力が花開き、実り始めること」という縁起のよさを表しているそうです。

様々な事業を実施するのに、コロナ禍で大変厳しい時期です。しかし、この厳しさの中で、それぞれが工夫し、努力をしてきました。まだ予断を許すことができない新型コロナウイルス感染症ではありますが、「癸卯(みずのとう)」の意味のごとく、町民皆さんのお力添えをいただき、社会教育、家庭教育、学校教育が花開き、実り始めればと思っています。今年も居場所づくり・絆づくりを大切に、「つながり」をキーワードにした取組を推進してまいります。

引き続き、御理解、御協力の程、よろしくお願いいたします。



### 「福うさぎ」を知っていますか

滑川町月輪に福正寺と勢至堂があります。この勢至堂の四方には「うさぎ」の彫刻が施されており、「福うさぎ」と掘られています。狛犬(こまいぬ)ならぬ狛兎(こまうさぎ)の存在に大変珍しく思っていました。

では、なぜ、ここに「うさぎ」がいるのかと不思議に思いますが、滑川村史に、「滑川村、月輪地区は往昔月輪関白の陰栖の地という伝承がある。」と記されています。伝説では藤原(九条)兼実(月輪殿)が福正寺を保護すると共に、建久7年(1196)一堂を建立して守り仏の勢至堂菩薩を安置したと言われています。月輪の地名は月輪家(九条家)の荘園があったからなど、何らかのつながりがあったとも言われています。勢至菩薩は阿弥陀仏にお仕えし智恵の光を与えくださる菩薩で、それに仕える「うさぎ」が施されていると言われています。

伝承もあり、詳細が分からないところもありますが、「月」と「うさぎ」とは、なんと夢のある話だと思いました。

また、勢至菩薩は、午歳生まれの守り本尊で、十二支には御守り本尊がいるそうです。

卯歳生まれの守り本尊はというと、文殊菩薩だそうです。滑川町の近くには、「日本三体文殊菩薩」のひとつである熊谷市の「野原の文殊寺」があります。ここにも、うさぎの彫刻があります。

せっかくの卯歳です。「うさぎ」に会いに行きながら、滑川町の魅力を再発見してみてください。

### 裏面

滑川中学校より、町民の皆様に応援いただいた全国駅伝競走大会の御礼があります。